

●2010 年度第 2 四半期決算説明会（IR）質疑応答議事録

日時 : 2010 年 10 月 27 日（水）17 : 15～18 : 15
場所 : 富士通汐留本社 24 階大会議室
説明者 : CFO 取締役執行役員専務 加藤 和彦

質問者 A

- Q. 上期の国内 IT 市場の状況はどうでしたか。下期と通期の見通しも教えてください。
- A. 国内 IT の景況感は、上期計画が前年同期比 98%に対して実績は同 101%となりました。業種別で見ると、産業が 105%、流通が 101%、社会基盤が 102%、金融が 105%、公共が 96%、地域が 97%でした。地域だけが計画を若干下回っています。下期は公共を除くすべての分野で前年を上回りますが、産業・流通のように非常に高い伸びを計画していた業種で、大口商談延伸による下期不透明感が広がっており、1Q 決算時計画 108%に対して 103%に下方修正し、通期でも同 104%を 102%に見直しました。
- Q. FS・FTS など海外子会社の状況について教えてください。
- A. 前四半期から、海外子会社の個別収益の開示は差し控えさせていただいております。英国・ドイツ・米国では減収となっています。特に英国の数字が英国政府の予算削減の影響を受ける見通しです。
- Q. 各セグメント営業利益の 7 月公表比上振れ額を教えてください。
- A. 全体で 120 億円上振れました。サービスはソリューション/SI が計画通りで、インフラサービスが国内で 30 億円上振れ、海外で 30 億円の悪化でした。システムプラットフォームは、システムプロダクトは計画通り、ネットワークプロダクトは 50 億円上振れました。ユビキタスソリューションは PC と携帯でほぼ半々で計 50 億円の上振れ、モバイルウェアは計画通りで推移しました。デバイスが計画通りです。その他/消去は 20 億円上振れました。

質問者 B

- Q. 足下の市場環境の変化を踏まえて、下期に悪化が見込まれるビジネス、また逆に下期に良くなっていくビジネスが何か教えてください。
- A. 下期以降もネットワークビジネスは堅調と見ていますが、下期に開発費用を追加します。ネットワークの 11 年度以降の売上拡大、特に北米は現在 10 億ドルに達しようとしています。過去到達していた 20～25 億ドル規模を目指すための投資だとお考え下さい。そこから派生してキャリアとのサーバを含めたビジネス拡大につながると考えています。
- 欧州のサービスビジネスは少し停滞気味です。ノルディックを含めた欧州地域でグローバルなお客様へ食い込むことが出来てきました。こうした商談の今年度の業績貢献は限定的ですが、いろいろある商談の受注が下期に積みあがってくれば 11 年度以降に明るい材料となります。オーストラリア地域でも現地の IT ベンダ Top3 に入ってきました。

した。もう少し商談が取れてくれば、収益の強い柱の一つになってくると思います。見通しに対しては悲観していません。グローバルな商談を活発化していこうとしています。

サーバビジネスでは、ORACLE 社と協力強化の話し合いが進んでいます。合意に至れば、ビジネスをより加速していける期待はありますが、現時点ではまだ決まっていないので、厳しめに見ています。

モバイルウェアは、世の中の流れを考えると、環境の変化が下期から出てくると見えています。これに対する対策を考えないと車関係のビジネスは厳しくなってくると見えています。

デバイスは、為替の影響を大きく受けていますが、LSI はファウンドリパートナーとのビジネスで受注が入ってきており、この下期から量産されますので、計画通り着実に進んでいると言えます。

Q. これまでのご説明で、社内目標として営業利益 2000 億円を目指しているとお話でしたが、今回の決算を踏まえて、社内目標の目線を下げられたといったことはあるのでしょうか？

A. 社内目標としての 2000 億円は諦めていません。過去の例から見ると、上期の営業利益が 400 億円以上のときは、年間営業利益は 1800 億円を超えるペースになると考えられます。市場環境の差はありますが、下期も計画達成へ向けて十分に対応できると考えています。今後の状況を見ながら必要に応じて対策を講じていきます。

Q. ORACLE 社との関係は、業務上の関係をより強化することなのですか？それとも資本関係を結ぶといった選択肢もあるのでしょうか？

A. まずは協業をしっかりとやっていくことを考えています。先般も米国で ORACLE OPEN WORLD に参加し、弊社がキーノートスピーチをしましたが、かなり好評だったと聞いています。また、ORACLE 社の CEO は HP 社の出身で、我々のビジネス形態に非常に近いバックグラウンドを持っていますので、文化的に非常にシナジーが出てくるのではないかと思います。良い方向に向かいつつあるとお考えください。

質問者 C

Q. 1Q と 2Q の合計で営業利益が計画より 220 億円上振れた計算になると思いますが、通期の営業利益計画を据え置いているということは、その上振れ分を下期で全て吸収するというのでしょうか？

A. そうみえています。

Q. ネットワークが堅調とのことですが、北米以外での、具体的なビジネス状況を教えてください。北米のビジネスで売上 20 億ドルを目指すという話がありましたが、どのようなペースで売上拡大を見込んでいますか？

A. 国内では上期は NGN が一巡する中で、前年同期比、また、1Q から 2Q にかけてのネットワークプロダクトの売上は若干減収となりました。一方、スマートフォン利用の拡大による NTT Docomo のトラフィック増に伴うルータやスイッチなどのビジネスが

広がっています。北米の方も同じ動きがあり、トラフィック増に対応する設備投資は今後も続くとみえています。北米のビジネスの 20 億ドル、25 億ドルの規模になるにはまだ時間がかかると思っています。ただ、Verizon、AT&T にとどまらず、カナダを含め、お客様数が増えてきました。新機種（Flashwave9500）のお客様も、小規模のお客様を含めるとかなり増えてきました。安定感のあるビジネスになりつつあるのではないかと思います。次のステップとしては、ネットワーク機器のハードウェア売りだけではなく、ネットワークの監視などサービスのビジネスを拡大していくことです。欧州、北米の大手投資銀行向けのグローバル商談などへの採用の確度が高くなってきているとみえています。単なる箱売りではなく、サービスで付加価値をつけたビジネスを展開していきます。

Q. 新光電気が今期の見通しを下方修正していますが、富士通との連結上では、そのまま含めていますか？

A. 新光電気は下期の為替レートを 1 ドル 80 円でみえています。当社は 85 円と想定していますので、違いはあります。

Q. 先般、沖電気に対して増資をされましたが、将来的に沖電気のビジネスを一部吸収したりするようなことはあるのでしょうか？他社の例で、少しの付き合いのつもりが、深みにはまってしまうということもあるようです。メインバンクが同じということもあり、今後、沖電気の状況がさらに悪化した際にどこまで付き合うのでしょうか。また、状況に応じてエンジニアを買い取るというようなことは予定していますか。

A. 今回の出資額は 10 億円です。投資に対するリターンがあることを意識して出資しました。深みにはまるようなことはせず、あくまでも経済的な面で、10 億円に見合うリターンを期待しています。また、ATM 関連の SI などで協業しているので、まずはそこを強化したいと思っています。さらに、当社のデータセンターやコンピュータをどんどん使っていただき、沖電気のビジネスの拡大につなげていただければと思っています。また、当社が必要とするような特定分野の開発リソースを持っているという面もあります。

質問者 D

Q. パソコンの出荷が鈍るなど、半導体市場も足下鈍化していますが、富士通の半導体事業が堅調な理由について教えてください。

A. 自動車、産業機器は下期厳しくなるとみえています。主力である AV 向けのほか、スマートフォン向け画像関連の LSI が増加するなど、従来とポートフォリオが変わりつつあります。また、アジアでは成都他に設計部隊を配置することで成果が着実にでており、アジア市場で伸び始めています。

Q. AV 系が主なアプリケーションということで、比較的堅調とのことですが、エコポイント終了後の影響をどう見えていますか。

A. 少し時間がかかるかもしれませんが、新しいアプリケーションを開発しようとしています。画像関連の LSI のような新しい製品を新しい分野へうまく広げていきたいと考え

ています。主戦場はアジア全般ですが、中国での商談をもう少し獲っていくために、新しい製品を開発している段階です。

- Q. ネットワークについて、FLASHWAVE 4000 シリーズのように開発が完了した利益率の高い製品の出荷が増え、利益の増加につながっていると思いますが、これはいつまで続くのでしょうか？ 新製品である FLASHWAVE 9500 は利益面では厳しい状況だと思えますが。
- A. お客様は FLASHWAVE 4500 から 7500 にシフトしてきています。現在、最もお客様が増加しているのは新製品である FLASHWAVE 9500 です。これが企業ネットワークにも入り始めており、この製品で利益が着実にだせるよう頑張っているところです。

以 上